

令和8年度分 市 民 税・県 民 税 申告書 A

杵築市長 殿 (令和 年 月 日提出)

現住所	杵築市		職業又は勤務先		
1月1日現在の住所			世帯主氏名・続柄	()	
フリガナ			生年月日		
氏名			明・大・昭平・令	年	月 日
個人番号			電話番号	自宅携帯	



行政区コード	—
--------	---

3 所得から差し引かれる金額に関する事項

1 収入金額等	事業等	ア	円	
	業	イ	円	
	不動産	ウ	円	
	利子	エ	円	
	配当	オ	円	
	給与	カ	円	
	雑	公的年金等	キ	円
		業務	ク	円
		その他	ケ	円
	2 所得金額	総合譲渡	短期	コ
長期		サ	円	
一時		シ	円	
事業等		①	円	
業		②	円	
不動産		③	円	
利子		④	円	
配当		⑤	円	
給与		⑥	円	
雑		公的年金等	⑦	円
	業務	⑧	円	
	その他	⑨	円	
	合計(⑦+⑧+⑨)	⑩	円	
	総合譲渡・一時	⑪	円	
合計	⑫	円		

⑬ 社会保険料控除	源泉徴収票の社会保険料欄の金額	円	後期高齢者医療保険	円
	国民健康保険	円	国民年金	円
	介護保険	円		円
⑭ 小規模企業共済等掛金控除	小規模企業共済法に規定する共済契約掛金	円	確定拠出年金法に規定する企業型・個人型年金加入者掛金	円
	心身障害者扶養共済掛金	円		円
	新生命保険料の計	円	旧生命保険料の計	円
⑮ 生命保険料控除	新個人年金保険料の計	円	旧個人年金保険料の計	円
	介護医療保険料の計	円		円
	介護医療保険料の計	円		円
⑯ 地震保険料控除	地震保険料の計	円	旧長期損害保険料の計	円
		円		円
⑰～⑲ 寡婦控除、ひとり親控除、勤労学生控除				
⑰ 寡婦控除		⑱ 勤労学生控除		⑲ ひとり親控除 (学校名)
□死別 □生死不明 □離婚 □未帰還		□死別 □生死不明 □離婚 □未帰還		□ひとり親控除 (学校名)
⑳ 申告者本人が障害者の場合は、障害の程度を記入してください。				
障害の程度		手帳の種類	身体・精神・療育・戦傷病	等級・度
等級		等級	等級・度	等級・度
㉑～㉒ 配偶者控除	配偶者の氏名	フリガナ	配偶者の合計所得金額	円
	生年月日	明・大・昭平・令	配偶者の合計所得金額	円
	個人番号		配偶者の合計所得金額	円
□同一生計配偶者 (控除対象配偶者を除く)				

⑬～㉒ 扶養親族、特定親族控除に関する事項

氏名	同居・別居	続柄	控除額	⑳障害の程度
生年月日	明・大・昭平・令	□同居 □別居	万円	身体・精神療育・戦傷病 級・度
個人番号			合計所得金額	円
生年月日	明・大・昭平・令	□同居 □別居	万円	身体・精神療育・戦傷病 級・度
個人番号			合計所得金額	円
生年月日	明・大・昭平・令	□同居 □別居	万円	身体・精神療育・戦傷病 級・度
個人番号			合計所得金額	円
生年月日	明・大・昭平・令	□同居 □別居	万円	身体・精神療育・戦傷病 級・度
個人番号			合計所得金額	円

別居の扶養親族等に関する事項

氏名	続柄	住 所	国 外 居 住
			□配偶者 □30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □38万円以上の支払
			□配偶者 □30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □38万円以上の支払
			□配偶者 □30歳未満又は70歳以上 □留学 □障害者 □38万円以上の支払

㉓ 雑損控除	損害の原因	損害年月日	損害を受けた資産の種類
	損害金額	保険金などで補填される金額	差し損失額のうち災害関連支出の金額
㉔ 医療費控除	支払った医療費等	保険金などで補填される金額	円
			円

地方税法附則第4条の5の規定の適用を選択する場合には、「医療費控除」欄の「区分」の□に「1」と記入してください。

5 寄附金に関する事項

都道府県・寄附先	⑳	円
市区町村分		
大分県共同募金会・日本赤十字社大分県支部	㉑	円
大分県 寄附先	㉒	円
杵築市 寄附先	㉓	円

市記載欄 (以下の欄には記入しないでください)		
番号確認	身元確認	備考
□マイナンバーカード □通知カード □住民票の写し □その他 ()	□マイナンバーカード □運転免許証 □健康保険証 □旅券 □その他 ()	□郵送

□給与明細 □医療費 □国保 □介護 □後高 □国年 □生保 □地震 □収支 □その他

※ 源泉徴収票、控除証明書などの必要書類(「1」可)はこの申告書には貼り付けずに共に提出してください。

6 農業所得計算書

11 配当所得に関する事項

配当所得の種類	支払者の「名称」及び「法人番号又は所在地」等	支払確定年月	収 入 金 額	必 要 経 費
			円	円
			円	円
分属課税に係る所得等のある方は、「市民税・県民税申告書（分属課税専用）」をあわせて提出してください。			国外株式等に 係る外国所得税額	円

12 雑所得（公的年金等以外）に関する事項

種 目	支払者の「名称」及び「法人番号又は所在地」等	収 入 金 額	必 要 経 費	所 得 金 額
		円	円	円
		円	円	円

13 総合譲渡・一時所得の所得金額に関する事項

科 目		A 収 入 金 額	B 必 要 経 費	C 差引金額 (A－B)	D 特 別 控 除 額	所得金額 (C－D)
総合譲渡	短 期	円	円	円		① 円
	長 期	円	円	円	円	② 円
一 時 所 得		円	円	円	円	③ 円
右上の①の金額を表面「リ」の収入金額等の「コ」に、②の金額を「サ」に、③の金額を「シ」に、 記入してください。合計金額は、表面「リ」の所得金額の「④」へ記入してください。					合計 ①＋（〔②＋③〕× 1/2） 円	

14 所得がなかった方の記載欄 (該当するものに○をして必要事項を記入してください。)

① 次の方の扶養になっていたり、又は援助を受けていた。

同居	・	別居（別居の場合は住所を記入してください。）
----	---	------------------------

住所

氏名	あなたとの続柄
----	---------

〈上記の方が単身赴任の場合、次の項目にも記入してください。〉

単身赴任の期間	年	月から	年	月まで（予定）
前年所得種類及び合計所得金額			所得	円
千葉県市内の家屋の使用状況				

② 学生・生徒で収入がなかった。（前年 12 月 31 日の現況）

大学・大学院	短大	専門学校	その他	年卒業予定
--------	----	------	-----	-------

③ 雇用保険（失業保険）・労災保険等を受給していた。（現在も受給中）

受給期間	年	月から	年	月まで
------	---	-----	---	-----

④ 遺族年金・傷病手当金等で生活していた。

遺族年金・傷病手当金・障害年金・その他（	）
----------------------	---

（障害者控除を申告される方は、表面の「障害の程度」欄にも記入してください。）

年間受給金額	円
--------	---

⑤ 生活保護法による生活扶助を受けていた。（現在も受けている。）

受給期間	年	月から	年	月まで
------	---	-----	---	-----

⑥ その他（前年中どのように生計を立てていたかを記入してください。）

7 事業・不動産所得計算書

8 月別給与収入等記載欄

(給与収入のある方で、源泉徴収票のない方は
月別の収入金額等を記入してください。)

月	日	給	勤務日数	収入金額
1		円	日	円
2		円	日	円
3		円	日	円
4		円	日	円
5		円	日	円
6		円	日	円
7		円	日	円
8		円	日	円
9		円	日	円
10		円	日	円
11		円	日	円
12		円	日	円
賞与(ボーナス)等				円
給 与 合 計 額				円
勤務先	名 称			
	法人番号又は所在地			
	電話番号			

9 所得金額調整控除に関する事項

氏名											続柄	
個人番号												
生年月日	昭	平	・	大	令							様
別居の場合の住所	特別被害者に該当する場合											

10 給与・公的年金等に係る所得以外（65歳未満の方は給与所得以外）の所得に係る 市民税・県民税の納税方法

☐ 給与から差引き（特別徴収）
☐ 自分で納付（普通徴収）

15 事業税に関する事項

非課税所得など	損益計算の特例適用の特例所得	事業用資産の譲渡損失など	資産の種類	損失額・被災損失額(円)
円	円	円		円
前年中の開業年月日	月	日	開 業	☐ 他都道府県の事務所等

この申告書を提出した方は、事業報告の申告書を提出する必要はありません。

16 事業専従者に関する事項

氏 名	フリガナ	生 年 月 日	個 人 番 号	続柄	従事月数	専従者給与(控除)額
明・大・昭 平・令					月	円
明・大・昭 平・令					月	円
所得税における青色申告の承認の有無		承認あり・承認なし	青色申告税に 係る金額			円

17 減価償却に関する事項

区 分	購入年月日	耐用年数	取得金額	必要経費算入額
	・		円	円
	・		円	円
	・		円	円
	・		円	円
	・		円	円
			円	円
			合 計 額	円